

みえ県議会だより

NO. 173

令和元年
(2019年)
12月1日



四日市港ポートビルからの夜景（四日市市）

発行／三重県議会 編集／三重県議会広聴広報会議

「みえ県議会だより」に関するご意見・ご感想をお寄せください。

〒514-8570 津市広明町13 ☎059(224)2877

FAX 059(229)1931 ✉gikaik@pref.mie.lg.jp

URL http://www.pref.mie.lg.jp/KENGIKAI/

http://www.gijiroku.jp/mie/ (スマホ版)

URL https://www.facebook.com/miepref.gikai (Facebook)



▲議会ホームページ ▲スマホ版議会だより ▲議会Facebookページ

～豚コレラ対策の関連補正予算等を可決～ 令和元年三重県議会定例会 9月定例会議

豚コレラの感染拡大防止対策や養豚農家に対する経営支援対策および風評被害対策の実施に関する令和元年度三重県一般会計補正予算などを審議し可決したほか、平成30年度三重県水道事業決算などを認定しました。また、「みえ県民力ビジョン・第三次行動計画」(仮称)〔中間案〕などについて議論しました。

本号の主な内容

- 1面 審議結果と主な開催実績、「選挙区及び定数に関する在り方調査会」を設置、豚コレラ対策等の意見書を国に提出
- 2～3面 代表質問、一般質問
- 4面 一般質問、用語解説、文書による質問、三重県議会定例会今後の日程(予定)ほか

審議結果

可決した議案

- 令和元年度三重県一般会計補正予算(第3号)ほか1件

条例

- 語学指導等を行う外国青年の報酬及び費用弁償に関する条例案 ほか11件

その他議案

- 工事請負契約について ほか3件
- 人事案件(同意)
- 土地利用審査会委員の選任につき同意を得るに ついて

認定した企業会計決算

- 平成30年度三重県水道事業決算
- 平成30年度三重県工業用水道事業決算
- 平成30年度三重県電気事業決算
- 平成30年度三重県病院事業決算

採択した請願

- 義務教育費国庫負担制度の充実を求めることについて
- 教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求めることについて
- 子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関 する制度の拡充を求めることについて
- 防災対策の充実を求めることについて

不採択とした請願

- 2020年度に向けて30人学級とゆきとどいた 教育を求めることについて

可決した意見書案

- 義務教育費国庫負担制度の充実を求める意見書
- 子どもたちの豊かな学びを保障するための教職 員定数改善計画の策定・実施と教育予算の拡充 を求める意見書案
- 子どもの貧困対策の推進と就学及び修学支援に 関する制度の拡充を求める意見書案
- 学校における防災対策の充実を求める意見書案
- 地方財政の充実及び強化を求める意見書案
- 国土強靱化対策の強化を求める意見書案
- 豚コレラ対策の更なる強化を求める意見書案

※議案の概要、議員別の賛否等の状況や請願・意見書の内容などは、県議会ホームページの「本会議」からご覧いただけます。

審議結果と主な開催実績

主な開催実績

9月

18日 本会議
議案18件上程、認定議案4件上程
教育警察常任委員会、戦略企画雇用経 済常任委員会
所管事項の調査
医療保健子ども福祉病院常任委員会
参考人の出席要求

24日

本会議
議案に関する質疑(3人)
予算決算常任委員会環境生活農林水産 分科会、予算決算常任委員会総務地域 連携分科会、予算決算常任委員会 議案の審査
医療保健子ども福祉病院常任委員会
参考人からの意見聴取

26日

本会議
一般質問(5人)、議案1件可決
本会議
一般質問(4人)

10月

2日 本会議
一般質問(4人)
外国人労働者支援調査特別委員会
参考人の出席要求

3日

予算決算常任委員会
企業会計決算審査、所管事項の調査

7日

10日 各常任委員会・分科会
議案の審査、所管事項の調査等

15日

外国人労働者支援調査特別委員会
参考人からの意見聴取

16日

本会議
代表質問(4人)
予算決算常任委員会
議案の審査、所管事項の調査

18日

本会議
議案17件可決、認定議案4件認定、請願 4件採択、1件不採択、意見書案7件上 程・可決、人事同意議案1件上程・同意 予算決算常任委員会
一般会計・特別会計決算認定議案の審査、 所管事項の調査

※この他にも、議会運営委員会、代表者会議、全 員協議会、議案聴取会、広聴広報会議、委員長 会議など、さまざまな会議を開催しました。
※議員の各質問は、2ページ以降に掲載してい ます。

本会議等はインターネット中継や録 画配信でもご覧いただけます。

「選挙区及び定数に関する在り方 調査会」を設置

三重県議会では、本年6月に、三重県議会 における選挙区及び定数の在り方について調 査するため、「選挙区及び定数に関する在り 方調査会」を設置しました。大学教授など外 部の有識者8人を委員として、「人口減少・ 地方創生時代における県議会の在り方や果た すべき役割について」とそれらを踏まえた「三 重県議会の議員の定数及び選挙区の在り方 について」の調査・報告を求めることとしてい ます。10月7日には、第1回調査会を開催し、 主に今後の調査の進め方等について協議が行 われました。協議の結果、「人口減少・地方 創生時代における県議会の在り方や果たすべ き役割について」は来年2月末を目途に、「三 重県議会の 議員の定数 及び選挙区 の在り方 について」は 来年8月を 目途に取り まとめを行 うこととさ れました。



中嶋議長が金井座長へ諮問書を手交



会議の様子

豚コレラ対策等の意見書を国に提出

9月定例会議において可決された「豚コ レラ対策の更なる強化を求める意見書」ほか 6件の意見書を、10月21日に議長が国に對し て提出し、要望の実現を働きかけました。 とりわけ、本県でも発生した豚コレラへの 対策については、農林水産省を訪問し、豚 コレラ対策の更なる強化を図るため、飼養豚 へのワクチン接種に対する必要な支援の実施 や、ワクチンを接種した豚の円滑な流通のた めの実施、被害を受けた養豚農家等への支援 の拡充、地方公共団体への必要な財政措置の 実施について要望し ました。

また、意見書を衆 議院議長および参議 院議長のほか、内閣 総理大臣などにも提 出し、要望の実現を 働きかける活動を行 いました。



農林水産省 神井審議官(消費・安全局 担当)への意見書提出の様子

文中の傍線部分については、4ページに用語解説を掲載しています。

代表質問

誰一人取り残さない 不登校児童生徒対策を

日沖 正信 議員
(新政みえ / いなべ市・員弁郡選出)



問

不登校児童生徒の数は、県も市町も対策を講じているものの増え続けているのが実情です。保護者や学校現場からは、相談を待つのではなく、家庭に向いていくことで、児童生徒や保護者に寄り添い、教育と福祉の垣根を超えてアドバイスをしてくれる訪問型の支援を行ってほしいという声をよく聞きます。そこで、県が進める、関係機関が専門家と連携した訪問型支援とはどのようなものかお聞かせください。

答

これまでのスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる支援に加え、今後は、教育支援センターの指導員や臨床心理士・社会福祉士等の専門家が家庭訪問をするなど、一人ひとりの状況に寄り添った支援を行っていきます。また、孤立感を感じている保護者もいることから、臨床心理士などによる、家庭訪問時の相談対応など、不安感を拭う支援も行っていく予定です。



- その他の質問事項
- 地球温暖化対策について
- 豚コレラ対策の今後について ほか



▲代表質問 (日沖正信 議員)

三重とわか国体・三重とわか大会の文化プログラムでeスポーツ大会の開催を

中森 博文 議員
(自由民主党県議団 / 名張市選出)



問

eスポーツは、障がいのある方もない方も、子どもからお年寄りまでが楽しめる競技であり、新しい分野の産業振興など、社会・経済的な面でも意義は大きいと考えます。若者の関心の高いeスポーツと国体を結びつけることで、若者の国体への関心を高める効果も期待できることから、いきいき茨城ゆめ国体のように、三重とわか国体・三重とわか大会の文化プログラムでeスポーツ大会を開催することについて、知事の考えをお聞かせください。

答

eスポーツにつきましては、近年、国内外において幅広く流行し始めており、今後の成長分野として期待されているところです。eスポーツの開催は、三重とわか国体・三重とわか大会へ若者の関心を引き付け、全国への情報発信も期待できることから、本県においてもeスポーツを文化プログラムの中で開催できないかという観点で、先催県の情報収集や関係団体等との意見交換も踏まえ、前向きに検討を進めていきます。



- 「北朝鮮拉致問題」解決のための三重県の取組について
- 「ウッドファースト社会」の構築について ほか



▲代表質問 (中森博文 議員)

災害時における事前避難所について

東 豊 議員
(草莽 / 尾鷲市・北牟婁郡選出)



問

気象庁では、南海トラフ地震が発生する可能性が高まった場合に、南海トラフ地震臨時情報を発表するとし、その際の対応として、事前避難が想定されています。事前避難所の運営費用は、災害救助法の対象のため国から財政措置がありますが、避難所の確保に向けた市町との調整が必要と考えます。また、事前避難は1週間に及ぶため、③スフィア基準と言われる国際的な基準を満たす快適な避難所の整備が急務です。そこで、県の取り組み状況等をお聞かせください。

答

現在、県内全市町と事前避難等に向けた対応策等について検討を進めており、今後、県全体の避難者数や避難所の把握、広域避難に係る調整等を予定しています。また、避難所の運営費用は、基本的に災害救助法の対象となりますが、必要な支援の強化を国に働きかけていきます。県としては、市町のニーズに對して、一体的に支援できるように、各部署で協力し対策を行います。その際、スフィア基準の視点も持ちながら進めていきたいと考えています。



- その他の質問事項
- 少子化対策(子どもを産み育てやすい環境づくりに)について
- 人材育成について ほか



▲代表質問 (東 豊 議員)

大杉谷地域振興対策について

西場 信行 議員
(自民党 / 多気郡選出)



問

近年、観光客やインバウンドが増加する情勢下で、三重県観光振興基本計画の見直しが進んでいます。大杉谷峡谷の観光戦略における位置づけをお願いします。そこで、今後の県の取り組みをお伺いします。

答

また、県政の重要課題である宮川の流量回復は、効果的な取り組みが進んでいません。今後の更なる流量回復に向けた県の対応策をお聞かせください。



大杉谷峡谷

- その他の質問事項
- 史跡斎宮跡の保存と活用について
- 林業・木材産業の課題について



▲代表質問 (西場信行 議員)

一般質問

主要農作物の種子に関する条例制定を

青木 謙順 議員
(自由民主党県議団 / 津市選出)



問

国が主要農作物種子法を廃止してからこれまで、県は関係機関と連携した取り組みを行っており、種子生産に支障は無いというものの、地元農家等からは、「県が将来も種子生産に関与してくれるか不安」といった声を聞きます。農家の皆さんが安心できるように、主要農作物の種子に関する条例の制定は必要だと思いますが、知事の考えをお聞かせください。

答

県議会や県民の皆さんからの条例制定を望む声を重く受け止め、関係者が一体となって採種事業を支えていくための新たな条例が必要と判断しました。今後、種子生産者をはじめとする農業者や関係団体等の意見を十分に聞きながら、令和2年6月定例会月会議での議案提出を目的に検討を進めていきます。



- その他の質問事項
- 河川における総合的な防災対策について
- 三重とわか国体・三重とわか大会について ほか



▲一般質問 (青木謙順 議員)

IR(カジノを含む統合型リゾート)誘致について

倉本 崇弘 議員
(草莽 / 桑名市・桑名郡選出)



問

9月18日、桑名市長から知事に対してIRの県内誘致について調査・研究を求める要望がなされました。IRは、地域経済や地域住民に大きなインパクトを与える施設であり、誘致をすればその地域の雰囲気は一変します。IR誘致には、慎重な判断と地域の合意形成が必要だと考えています。そこで、現在のIR誘致についての県の考えをお聞かせください。

答

今回、桑名市長等からIRの調査・研究について要望をいただいたことから、県としてさまざまな観点から中長期的な視点で研究を進めていくこととしています。しかしながら、社会的懸念などに対する県民の皆さんの不安もありますので、決して誘致ありきではなく、慎重に研究していくということが前提であると考えています。



- その他の質問事項
- MICE誘致について
- 通学路等の安全対策について ほか



▲一般質問 (倉本崇弘 議員)

幼児教育・保育の無償化の円滑導入に向けて

中川 正美 議員
(自民党)
伊勢市選出



問 10月1日にスタートする幼児教育・保育の無償化は、現場にとっても大きな制度改正となります。市町への新制度の周知・問合せへの対応等を国だけで行うことは困難であるため、県が市町の課題を把握し、問題点を国に伝え、その改善を要望するなどの役割を果たすことが重要で

す。そこで、幼児教育・保育の無償化の円滑な導入に向けた県の対応方針をお聞かせください。

答 無償化が開始される中で気づく不具合や疑問に対し、引き続き広域自治体として市町等に相談支援を行うとともに、公立・私立などの運営主体により情報伝達に差が出ないように、市町や保育所等の方々に対して丁寧に対応していくことで、保護者が安心して保育所等を利用しただけでなく、努めていきます。



その他の質問事項
○豚コレラ対策の強化について

○観光振興について
か ついて ほか



▲一般質問 (中川正美 議員)

DMG森精機との「協創」の三重県づくり

稲森 稔尚 議員
(草の根運動いが)
伊賀市選出



問 三重県とDMG森精機株式会社は、昨年4月に産業振興等に関する包括的連携協定を締結しました。県内製造業の技術高度化や技能人材の育成等の産業振興、地域の活性化など6項目の協定内容となっており、その協定をふまえ、同社と伊賀市、地元まちづくり協議会は景観まちづくりプロジェクト推進協定を締結しました。そこで、これらの成果や今後の県の協力についてお聞かせください。



DMG 森精機と伊賀市、地元まちづくり協議会の協定締結の様子

答 同社との主な取り組み実績として、工業研究所や県立工業高校への最先端の5軸加工機の無償貸与、企業への機械加工に関するアドバイスなどがあります。伊賀市におけるプロジェクトでは、JR新堂駅周辺の景観の整備等が計画され、県としても具体化に向け調整を図ってまいりました。今後引き続き、市と連携しながら実現に向け支援してまいります。

その他の質問事項
○多言語化する児童・生徒の教育環境について

○ヘイトスピーチの解消について



▲一般質問 (稲森稔尚 議員)

食育の推進について

中瀬 信之 議員
(新政みえ)
度会郡選出



問 第3次三重県食育推進計画を達成するための環境づくりは重要なことです。特に子どもたち

に食育を教える事は、徳育よりも知育よりも体育よりも食育が先との考えがあります。子どもたちの将来を考えると教育現場で食育を進める栄養教諭の役割が重要と考えます。そこで、現状の学校に配置されている栄養教諭の数と今後の考え方についてお聞かせください。

答 法律の基準に基づき、今年度は公立学校の120名に加え、県市教育委員会の5名を合わせ、計125名の栄養教諭を配置しています。栄養教諭の必要性は増しており、配置基準を改善するよう国に要望を行ってまいります。今後



その他の質問事項
○三重とこわか国体・三重とこわか大会開催後の競技力強化策と地域活性化について

○三重県農業の未来について ほか



▲一般質問 (中瀬信之 議員)

「子どもを虐待から守る条例」の改正に向けて

前野 和美 議員
(自由民主党県議団)
津市選出



問 児童虐待の重篤化を防ぐためには、適切な一時保護や、児童相談所が支援を行っている家族が転居した際の関係機関間の十分な

連携や引き続きが重要です。そこで、「子どもを虐待から守る条例」の改正に当たって、適切な一時保護対応と転居の際の適切な連携などをどう担保して書き込んでいくのか、また、今後どのように取り組んでいくのか、県の考えをお聞かせください。



答 条例改正に当たっては、適切な一時保護や関係機関との連携、情報共有など、これまでの取り組みの成果を踏まえ、子どもの安全確保の方針をより強く表していきたいと考えております。改正を機に、子どもや子育て家庭に寄り添ったより一層の支援が行えるよう検討してまいります。

その他の質問事項
○全国トップクラスの健康づくりについて

○農業の抱える課題について ほか



▲一般質問 (前野和美 議員)

未病(健康と病気の間)対策の推進を

田中 智也 議員
(新政みえ)
四日市市選出



問 健康寿命の延伸に向けて、健康状態と病気の状態の間にある「未病」という状態にアプローチをしていくことが重要ではないかと思っております。実際、神奈川県では、未病対策にしっかりと取り組んでおります。本県においても、「未病」という概念を健康寿命の延伸に向けた取り組みに活用してはどうかという点について、県の考えをお聞かせください。

答 健康寿命の延伸を実現するためには、病気になる前から医療機関を受診するのではなく、その前に疾病の予防や、重症化を防ぐという、「未病」の考え方に基いた対策が重要であると考えています。今後は、「未病」の考え方に基いた取り組みを、企業、関係機関・団体、市町と連携しながら進めていきたいと考えております。



その他の質問事項
○これからの消防・救急体制について

○「みえの漁業」について ほか



▲一般質問 (田中智也 議員)

学力向上と学級規模について

小林 貴虎 議員
(自由民主党県議団)
津市選出



問 本年度の全国学力・学習状況調査において、三重県は小中学校あわせて、5教科中4教科で全国の平均正答率以上となりましたが、どのような取り組みの成果だと分析していますか。また、学力と学級規模の関係に係る三重県独自の調査の実施と、学力確保のための学級規模に係る基準が必要だと考えますが、県の考えをお聞かせください。



答 子どもたちがどれだけの力を確認し改善につなげる取り組みや、「みえの学力向上県民運動」を推進し、学校・家庭・地域が一体となった取り組みなどを、粘り強く積み重ねてきた結果と考えています。学力と学級規模の関係は、年度や科目によって状況が異なるため、他県の分析等を参考にしながら研究しています。また、基準については、慎重な検討を要する内容のため、市町の意見を聞きながら研究を進めます。

その他の質問事項
○森林環境譲与税と木材の利用促進に関して

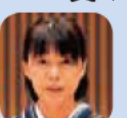
○「めぐみ」の学校での利用促進について ほか



▲一般質問 (小林貴虎 議員)

樹木の計画伐採を

中瀬古初美 議員
(新政みえ)
松阪市選出



問 昨年9月の台風21号、24号の際には県内で停電が発生し、特に中山間地域で、電気や水道のインフラに大きな影響がありました。山間部では、広範囲にわたる多くの倒木により、復旧作業は難航して時間を要し、停電を長引かせることとなりました。そこで、暴風雨の際に倒れて電線を断線させる恐れのある樹木を、計画伐採するべきであると考えますが、いかがですか。

答 災害時の長期的な停電は、県民の安全・安心な暮らしに大きな影響を与えます。そこで、年度内には第1号となる県・市町・電力事業者による3者協定を締結し、大規模な停電を未然に防止する計画伐採を来年度から計画的に実施していきけるよう、しっかりと調整を進めてまいります。



その他の質問事項
○災害時における停電復旧作業の連携等に関する協定の締結について

○三重県営水道用水供給事業の県営水道料金の引き下げについて ほか



▲一般質問 (中瀬古初美 議員)

若者の県内定着に向けた取り組みを

石垣 智矢 議員
(自由民主党議員/いなべ市・員弁郡選出)

杉本 熊野 議員
(新政みえ/津市選出)

中村 進一 議員
(新政みえ/伊勢市選出)

問 本県では平成20年から転出超過が続いており、30代、40代を含め、若者の人口流出をいかに食い止めるかが特に大きな課題となっています。そこで、

⑨「若者県内定着緊急対策会議」などでの議論を踏まえ、若者の県内定着に向けた考え方や取り組み方針などが、「みえ県民力ビジョン・第三次行動計画」(仮称)中間案にどのように反映されているのかお聞きします。

答 第三次行動計画(仮称)と一体的に策定する第2期の「三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、「活力ある働く場づくり」「未来を拓くひとづくり」「希望がかなう少子化対策」「魅力あふれる地域づくり」に総合的に取り組むこととし、



誰もが安心して生活を営み、活躍できる環境を作り、若者の県内定着につなげていきます。

その他の質問事項

○県北勢地域での記録的豪雨災害について

○豚コレラ対策について

ほか



▲一般質問 (石垣智矢 議員)

農福連携に関するビジョンの策定と推進体制の構築について

杉本 熊野 議員
(新政みえ/津市選出)

問 三重県の農福連携は、これまでの取り組みによって一定の成果が出ていますが、その認知度や、「農」への広がり等については、課題があると感じています。そうした課題に対応し、農福連携の更なる推進を図っていくためには、農福連携に関するビジョンを策定すると思いますが、いかがでしょうか。



障がい者による水耕野菜の植付け作業の様子

答 関係者が一体となった農林水産業全体で福祉分野との連携を促進していくため、取組方向をまとめたビジョンが必要と考えており、次期行動計画とも整合をとりながら、策定に向けた検討を進めていきたいと考えています。

また、その中で、地域における効果的な推進体制の構築についても、しっかりと議論していきます。

その他の質問事項

○「木の学校づくり」(学校施設の木造化・木質化)の推進を!

○学校教育の情報化の推進について

ほか



▲一般質問 (杉本熊野 議員)

今こそ平和教育の推進を

中村 進一 議員
(新政みえ/伊勢市選出)

問 戦後74年が経ち、戦争を知っている人々が90歳を超えてきています。戦争が風化してきており、私も、伊勢市で空襲があつたことを伝えていく活動を行っています。一方で、戦争がバーチャル化しているのではないかと感じています。

各学校において取り組まれている平和教育の現状と、今後の取り組みについてお聞かせください。

答 県立高校において、毎年、56校中40校前後の学校が、修学旅行で沖縄や長崎、広島を訪れ、戦争の悲惨さや平和の尊さについて学んでいます。県としましては、今後も引き続き、授業や修学旅行等で平和や国際理解をテーマにした学習を進め、戦争の記憶が風化することなく引き継がれるよう取り組んでいきます。



その他の質問事項

○主要農作物種子法廃止と種子条例について

○黒ノリの生産と伊勢湾の環境について

ほか



▲一般質問 (中村進一 議員)

用語解説

1 文化プログラム

国民体育大会および全国障害者スポーツ大会の開催機運の醸成などを目的に、開催県において、スポーツ文化や開催県の郷土文化等をテーマとした文化芸術事業などを実施するものです。

2 eスポーツ

「エレクトロニック・スポーツ」の略で、広義には、電子機器を用いて行う娯楽競技、スポーツ全般を指す言葉であり、コンピュータゲーム、ビデオゲームを使用した対戦をスポーツ競技として捉える際の名称です。

3 スファイア基準

紛争や災害の被災者の方々が、尊厳ある生活を送ることを目的に定められたもので、避難所等の整備における最低限の基準等が定められています。

4 DMO

Destination Management / Marketing Organization の略で、観光地のブランドづくり、情報発信・プロモーション、マーケティング、戦略策定などを担う観光地域づくりの推進主体のことを指します。

5 IIR

Integrated Resortの略で、地方自治体の申請に基づき設置される、カジノやホテル、ショッピングモールなどの商業施設や観光施設などを一体化した複合観光集客施設のことです。

6 MICE

MICEとは、企業等の会議(Meeting)、企業等の旅行(Travel)、研修旅行(インセンティブ旅行)(Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議(Convention)、展示会・見本市、イベント(Exhibition/Event)の頭文字で、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称です。

7 食育

食育基本法では、食育を「生きる上での基本であつて、知育、徳育及び体育の基礎となるべきものと位置付けるとともに、さまざまな経験をを通じて「食」に関する知識と「食」に関する力を習得し、健全な食生活を実践することができるよう人間を育てる」としています。

8 未病

未病とは、病気ではないが健康でもない状態のことを指し、一般社団法人日本未病システム学会では、自覚症状はないが検査結果では異常がある状態と自覚症状はないが検査では異常がない状態のことを合わせて、未病と定義しています。

9 若者県内定着緊急対策会議

若者の県内定着に向けて、部局を超えた検討・連携を進め、各取り組みの相乗効果を高め、平成30年4月に庁内に立ち上げられた会議です。

三重県議会インターンシップ実習生の受け入れ

県議会では、議会における監視機能の強化や政策立案の充実、地方分権の推進に資する人材の育成などを目的として、平成21年度からインターンシップ実習生を受け入れていきます。今年度は、地元の三重大学大学院からの生徒を実習生として受け入れました。

実習は、9月13日から27日までの実質9日間で、期間中は、県議会の取り組みの聞き取りや議員へのインタビュー、県議会事務局の業務の体験などを通じ、県議会や議員の役割等について学んでいただき、実習の成果を発表する報告会では、「議会改革と広聴広報」というテーマのもと、正副議長等へ政策提言をした上で、いただきました。



文書による質問

三重県議会基本条例第14条の2の規定に基づき、次のとおり文書による質問が提出されました。

○稲森稔尚議員(草の根運動い)

県立学校における体罰事案と、今後の体罰から児童・生徒を守る取り組みについて

※質問と回答は、県議会ホームページでご覧いただけます。

三重県議会定例会今後の日程(予定)

令和元年12月から令和2年2月までの日程(予定)は次のとおりです。

12月3日、5日	本会議(一般質問)
6日、9日	予算決算常任委員会
10日、13日	各常任委員会及び分科会
18日	予算決算常任委員会
19日	代表者会議、議会運営委員会
20日	本会議(採決・閉会)
1月15日	本会議(開会)
2月3日	代表者会議
10日	議会運営委員会
12日	全員協議会
17日	本会議(議案上程)
18日	議案聴取会
25日	本会議(代表質問、議案質疑)
27日	本会議(一般質問)

※この日程は、令和元年11月5日現在の予定です。最新の情報は、議会ホームページ内「議会の日程」でご確認ください。

テレビ広報番組「三重県議会ハイライト」

各常任委員会等の県内調査や委員会審議の様子、委員長インタビューなどをまとめたテレビ広報番組「三重県議会ハイライト」委員会活動等のご紹介を三重テレビで放送します。ぜひご覧ください。

放送日時

①令和元年12月11日(水) 午後7時~午後7時30分

②令和元年12月12日(木) 午後7時~午後7時30分

③令和元年12月14日(土) 午後6時30分~午後7時

総務地域連携推進委員会、戦略企画雇用経済常任委員会、環境生活農林水産常任委員会の活動等のご紹介